

日にち

正の数・負の数③

組 番 氏名

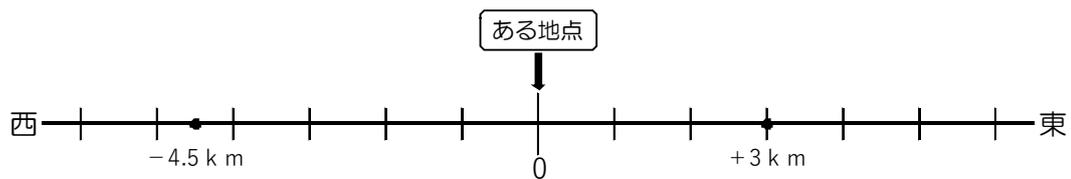
本時の目標

教科書の方法を参考に解いてみましょう。

例1 収入と支出の表し方

2000円の収入を、+2000円で表すとき、3000円の支出は、-3000円と表される。

例2 東と西の表し方

ある地点から 3 km東の地点を、+3 kmで表すとき、ある地点から 4.5 km西の地点を、-4.5 kmと表される。

Q1 500円の利益を+500円と表す。このとき、1000円の損失はどう表されるか
答えなさい。

例3 目標を基準にして考える

山中さんは、バレーボールの試合で、15得点することを目標にしている。

このとき、目標としていた得点との違いは、

17得点すると、+2得点8得点すると、-7得点 のように表される。

ポイント

反対の性質をもつ量は、負の数を使うと、その一方の言葉だけで表すことができる。

例、「多い」、「少ない」について ⇒ 7個少ない …… -7個多い

Q2 A中学校の図書委員会では、図書室の利用者数の目標を、1日150人としていました。ある1週間の平日に、図書室を実際に利用した人数を調べたところ、次の表のようになりました。この表の空欄をうめ、表を完成させなさい。

曜日	月	火	水	木	金
利用者数(人)	160	145	153	143	150
目標(150人)との違い	+10	-5			

Q3 〈 〉内の言葉を使って、次のことを表しなさい。

(1) 3個少ない 〈多い〉 (2) 6cm短い 〈長い〉

(3) 4kg軽い 〈重い〉 (4) 6円たりない 〈余る〉

【自己評価】 ☆プリント終了後に自己評価をしてみよう。A：よくできた B：できた C：もう少し

自己評価項目	自己評価	一言・感想(分かったこと・疑問なことなど)
反対の性質をもつ量や基準を決めたときの量を表す数として、正の数・負の数が使われていることを理解できた。		
正の数・負の数を使って、反対の性質をもつ量や基準を決めたときの量を表すことができた。		

本時の目標 正の数・負の数の表し方をマスターしよう。

【解答】

Q1 500円の利益を+500円と表す。このとき、1000円の損失はどう表されるか
答えなさい。

答. -1000円

Q2 A中学校の図書委員会では、図書室の利用者数の目標を、1日150人としていました。
ある1週間の平日に、図書室を実際に利用した人数を調べたところ、次の表のようになり
ました。この表の空欄をうめ、表を完成させなさい。

曜日	月	火	水	木	金
利用者数(人)	160	145	153	143	150
目標(150人)との違い	+10	-5	+3	-7	0

- ・水曜日 $153 - 150 = 3$ 目標より3人多い $\rightarrow +3$
- ・木曜日 $150 - 143 = 7$ 目標より7人少ない $\rightarrow -7$
- ・金曜日 $150 - 150 = 0$ 目標と等しい $\rightarrow 0$

Q3 〈 〉内の言葉を使って、次のことを表しなさい。

(1) 3個少ない 〈多い〉

(2) 6cm短い 〈長い〉

答. -3個多い

答. -6cm長い

(3) 4kg軽い 〈重い〉

(4) 6円たりない 〈余る〉

答. -4kg重い

答. -6円余る